

たんぽぽうしん

第26号

[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会/アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移 147-3 TEL: 011-792-3969 / FAX: 011-792-2887
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail: info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 [発行] 2014年10月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円

福島プロジェクト、4度目の夏

社会福祉法人 札幌協働福祉会 自然体験学校校長 山田 太郎

仁木町冷水峠の「山の家 きょうどう」で開校された、今年の「夏の自然体験学校」は7月22日から8月10日までの20日間でありました。参加者は16名。うち14名は放射能汚染地からの参加であり、あとの2名は福島から札幌への移住者でありました。参加者の内訳は男子11名、女子5名。学齢別で見ると、中学生3名、小学生13名でありました。16名の中には、障がいをもった子どもさんが5名在籍しておりました。

自然体験学校のこの夏のプログラムの主だったものを挙げると、開校式・仁木町長への表敬訪問・ラジオ体操・おもしろ漢字教室・海水浴・スポーツレク(仁木町山村開発センター)・地域のお祭り参加(あいあい祭・仁木町の盆祭り大会)・ロシアアンサンブル鑑賞・花火大会・サクランボ狩り・ネパール砂川での宿泊体験・ウォークラリー・ホテル観賞会・表札作り・閉校式など、日常の学習と合わせて多様に楽しむこともできました。

子どもたちは、家族から離れての避難生活を余儀なくされている訳ですが、実にしっかりと落ち着いて集団生活に打ち解けた毎日をすごしておりました。もちろん、病気やケガもなく、スタッフにとっては、子どもたちの成長から学ぶことが多くあり、苦勞のし甲斐に感謝しつつ閉校式を迎え、修了証書を授与することができました。



行事予定

《拓北・あいの里地域の行事予定》

- 10月12日(日) 道新こどもマラソン大会 場所：あいの里西公園
- 10月15日(水) ふれあいピクニック 場所：新篠津温泉

《札幌協働福祉会の行事予定》

- 10月18日(土)～19日(日) 釣り・パークの旅(岩内)
- 10月31日(金) あいのさとジャズナイト 場所：拓北・あいの里地区センター
- 11月2日(日) ノーマライゼーション研究会 場所：拓北・あいの里地区センター
- 11月8日(土)～9日(日) 釣りと観光の旅(礼文華・洞爺湖)



おもいきり夏休み in 北海道 2014

7/22(火)
～8/10(日)

感想文
抜粋



「ありがとう」の声

山の家の生活で、まず始めたのは、食堂でご飯を食べる後に台ふくことだった。すると、夏前からたくさんの「ありがとう」という声が私の耳に届いてきた。そんな小さなことだけれど、とてもうれしかったから、ぜひ継続したいと感じた。血汗も手汗も、最初は足手まねになって迷惑をかけるかもしれないと思った。でもとても喜んでくれた。(中学2年・本田 千晶)

楽しかったこと

楽しかったこと／赤井川にうえんでくるくると、あじしかったもの／年じゆくの目玉やき、ベーコンとパンとスープ、2回目と3回目のカレー、きれいだっこと／ホテル、花火、さびしかったこと／なんぶさん、かわしまさんとのおわかれ。もっとやりたかったこと／虫とり。(小学3年・丹羽 龍大)

再会

ぼくは、学校の部活動の関係で今年は途中で参加しました。なので、数日しかいないで体育館やエープランド(入浴)くらいしか行ってないけれど、久しぶりに仲平や卓磨とかに会って、山の家や体育館でたくさん遊べたので楽しかったです。(中学1年・羽根田 大誠)

友だち沢山

おもいきり夏休みのきかに参加させていただき本当にありがとうございました。海水浴やフルーツ狩り、キャンプや工作など、とても楽しい夏の思い出をつくらせてもらいました。友だちも沢山できて、とても楽しかったです。また、春休みや冬休みも行きたいです。(小学5年・小林 聖佳)

山の家の思い出

山の家の生活でチャッキーのさんぽが楽しかったです。てんぽう台では名前がわからないけれど何かで、空を飛んでいる人がいて大きな声で話したら返事をしてくれました。けっこう遠かったのにわかってもらえてうれしかったです。(小学5年・渡辺 修平)

すきはき道遊び

たのしかったことは、毎日でがらむることです。すなはまは海の中にもすきはき道がたくさんおちっていました。すなはまでは、すきしだけってみたら、たくさんできてきました。(小学2年・羽根田 龍尚)

楽しかった夏休み

一日一日がとてもたのしかったです。午前中はそうじや勉強などをしました。午後は、外で遊んだり、体育館や海水浴に行きました。夜には、しゅうしん時間すぎたら部屋をぬけだし色々な所に行きました。たまにさわがしくなってスタッフのみつかりしてしまいました。カモフラージュをしてスタッフをあざむいたこともありました。いろいろな事があった27日間でした。(小学6年・藤野 良亮)

イベント報告コーナー

9/6(土) 第20回収穫祭

9月6日、札幌協働福祉会主催「第20回収穫祭」が、あいのさとサポートセンター特設会場にて開催されました。オープニングは「すっこけダンサーズ&艇〜教育大&タカエ〜」の元気な演奏から、好天に恵まれたこの日の会場は、大勢の来賓者でにぎわいました。



協働福祉会代表(左)と拓北・あいの里連合町内会執行正副会長の挨拶
「すっこけダンサーズ&艇」の演奏
ドリームズフロンティアの演奏
さっぽろ五旗連よりの演奏
あいの里ママさん吹奏楽団も出演

9/20(土)～21(日)

親子旅行

協働福祉会では、20日から21日までの日程で親子旅行を開催しました。秋色に染まり始めた大雪山国立公園内の十勝岳ふもと童謡野、美瑛の田園地帯をバスでめぐると、悠遊した白金温泉では、十勝岳を眺めてゆったりと湯かき浴の味覚を楽しみました。翌日は旭川市の旭山動物園を訪れ、みなさん思い思いに過ごされておりました。



広がる田園風景を眺めながら
⇒20日 旭山動物園
お目当てのうまいいワンの試飲
⇒20日 美瑛野ウイナムで

インタビュー 4 拓北・あいの里地区 民生委員・児童委員協議会会長 鈴木日出夫氏



任期3年の民生委員・児童委員を1期つとめて、昨年2月の改選で協議会の会長に就任した。選挙人は、親身になって相談に乗る民生委員・児童委員として、また協議会の会長としても責任を担われる。

地域になくはならない大切な役割果たす

▼民生・児童委員はどんな仕事をされているのですか。

鈴木 65歳以上のひとり暮らしのお宅を月1回訪問し、安否確認などの見守り活動を行うとともに、話し相手にもなってさまざまな相談に応じたりしています。この地区ではほとんどなのですが、児童虐待の早期発見も大事な仕事で定期的な学校訪問で校長先生や教頭先生からの聞き取りを行っています。

▼地域になくはならない重要な仕事ですね。

鈴木 拓北・あいの里には38人の委員がいて、地区毎に1名配置し、住民のために何かあったら対応できるようにしています。協議会は月1回例会を行って、情報交換や報告などの報告を行っています。

▼無給なのですか。

鈴木 電話代や交通費など多少の活動費は出ますが、基本はボランティアです。委員の3分の2が現役世代で、女性の方が多いです。任期は3年です。

▼どんな相談が多いのですか。

鈴木 最近ではあまり問題もなく、極端に忙しい

ということはないですね。単身高齢者の方で、買い物困難という方には市の配食サービスを紹介するなどしています。

▼課題が起きた時は専門機関との連携も大切ですね。

鈴木 私たちの活動は法律に基づいており、見守りの対象は65歳以上とか、玄関から中に入るの難しさという縛りがあります。その点は柔軟性のある連合町内会との連携が大事で、情報交換を年2～3回行っています。また、地域包括支援センターや児童相談所などの専門機関とも連携する形ができています。

▼やりがいある仕事ですね。

鈴木 お年寄りのお宅に伺っている話した後に、「ありがとう」と感謝されるのがうれしいですね。そうは言っても、なり手がいないのが悩み、いまも欠員が3名あり、補充中です。委員は単位町内会長の推薦と連合町内会の面接で選ばれます。30歳以上で、ボランティア精神があり、親身になって相談できる人であれば、誰でもなれるので、積極的に受けてほしいですね。

新人職員紹介 ～2014年度 その③～



協働福祉会本部 高山 保乃華
本年度から事務員として働いており、高山保乃華と申します。勤めて半年が経ちますが、障がい福祉サービスについてはまだまだ不明な点も多く、毎月の請求を通じで吸収していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

地域行事の紹介

拓北・あいの里地区 安全安心まちづくり総決起大会開催される

8月23日(土)午後、連合町内会が主催の「安全安心まちづくり総決起大会」が、あいのさと清城小学校で開催されました。松井連合町内会会長の挨拶に始まり北市民部長さん、北警察署生活

安全課長さんの挨拶、大会後半には北海道警察音楽隊とカラーガード隊が登場し、昇る演奏と演技が披露され、参加された皆さんの盛大な拍手を響けておりました。

事業所紹介コーナー ④

ウレシバ・ボエムアクティビティーセンター

【障がい福祉サービス事業】
■ウレシバ生活介護 定員20名
2005年4月開設
■ボエム就労継続支援B型 定員20名
2003年6月開設
札幌市清田区里塚2条2丁目12-15(ウレシバ)
TEL 011-889-5656 / FAX 011-889-5633



1994(平成6)年、札幌市清田区に「ウレシバ共同作業所」が生まれました。2005(平成17)年、社会福祉法人札幌協働福祉会の一員として、また、2008(平成20)年には障がい者自立支援法の移行に伴い、NPO法人ボエム(精神障がい者小規模作業所)と統合し、生活介護事業所と就労継続B型事業所として今のウレシバ・ボエムアクティビティーセンターが誕生しました。

ウレシバでは、午前中下請け作業、法人の行事で販売する刺し子やピアス、シュシュといった自主製品の製作を行っています。午後は、買い物や運動などの外出行事、絵画や書道といった屋内活動を生活介護プログラムの中で行っています。

ボエムでは、午前と午後に着作業やフードバック作業、ポスティングなどの下請け作業を行っています。また、月に数回、午後にお楽しみ活動を取り入れ、買い物などの外出行事や、屋内での活動を行っています。

作業・活動を行っている場が違うため交流が少ないように思われますが、開所日等にウレシバとボエム合同で活動することによって、交流を深めています。

【文・ウレシバ・ボエムアクティビティーセンター 金子 彩良】

＜地域生活支援センター事務所移転のご案内＞

朝晩の気温もいつしか涼しくなり、秋の気配を感じさせる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

さてこの度9月16日(火)より、地域生活支援センターの事務所をグループホームにより近くにと、今の篠路町福移からあいの里4条5丁目に移転することになりました。

つきましては、下記のように住所・電話番号などが変更になりますので、今後とも宜しく願います。

- 新住所：〒002-8074 札幌市北区あいの里4条5丁目 10番 15号
- 電話番号：地域生活支援センター 011-770-5220 FAX 011-770-5221
ヘルパーステーション キートス 011-770-5333
ヘルパーステーション キートス 相談室 011-770-5666

山の家通信



仁木町冷水峠にある当法人の保養施設“山の家きょうどう”からの通信を毎月掲載します



ワインや料理を楽しむ参加者

9月14日(日)、山の家でMom's summit(ママズ・サミット)が開かれました。

野菜やジュース、ワインや料理、整体や手づくり品などバラエティに富んだマルシェ。

メインステージでは、ライブやメインゲストのおしどりマコ・ケンのトークありで、参加者は山の家での秋の一日を満喫しました。

7th **AINOSATO**
JAZZ NIGHT 2014

【出演】
THE DOUBLE UP

10/31 金 会場／拓北・あいの里地区センター
(札幌市北区あいの里1条6丁目)

開場 18:30 開演 19:00 入場料 ¥2,000

- お問合せ 拓北・あいの里地区センター TEL 011-778-8000 FAX 011-778-3366
ドリームセンターあいいい(担当：荒井) TEL 011-374-7282 FAX 011-374-7283
- 共 催 拓北・あいの里地区センター／社会福祉法人 札幌協働福祉会



HSK たんぽぽ通信 第26号

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協会
TEL011-792-3969
FAX011-792-2887 (福田、松岡)

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK 通巻511号
[発行] 2014年10月10日発行(毎月10日発行) [定価]20円
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協会 牧野秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移 147-3
TEL: 011-792-3969 / FAX: 011-792-2887
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)